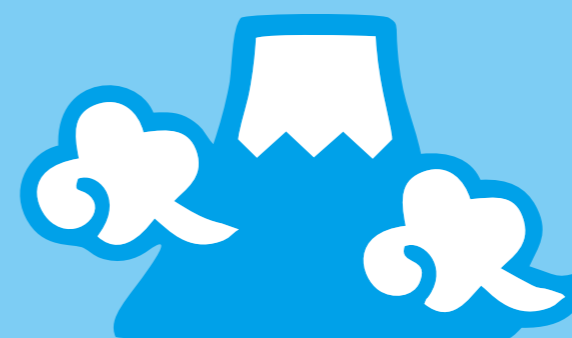




富士山のもとで、 地方自治体の 未来を考える ～憲法・国民投票・地方自治～



8/24 金曜日 8/25 土曜日
参加申込み締切り7月末

沼津情報ビジネス専門学校

参加費(1日だけでも2日通しも)

- 政策情報センター会員議員…5,000円
- 非会員議員(区市議・都道府県議)…1万円
- 首長…5,000円(協賛費)
- 町村議(会員、非会員問わず)…3,000円
- 一般/研究者…1,000円(1日のみ参加500円)
- 学生…無料(予約申込が必要)
- 地産地消レセプション…4,000円

参加申込み
締切り
7月末

●静岡県沼津市



JR沼津駅下車南口より徒歩 約6分
イーラdeの北側を西進し、
あまねガードを越え突き当りを左折

沼津情報ビジネス専門学校
静岡県沼津市西条町17-1
TEL 055-961-2555

参加のお申し込み、お問い合わせは



〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田ビル2F
自治体議員政策情報センター・虹とみどり
電話 086-244-7723 Fax 086-244-7724
jchitaigiinjouhou@gmail.com

特別講演

静岡県から地方自治を考える

静岡県知事 川勝平太さん

基調講演

「日本一わかりやすい憲法のはなし」

谷口真由美さん(大阪国際大学准教授、大阪大学非常勤講師、全日本おばちゃん党代表代行)

分科会

- 1 「国民投票と地方自治」
鈴木秀美さん(慶応義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授)
南部義典さん(元慶応義塾大学講師)
- 2 「憲法・地方自治・議員のめざす姿」
福嶋浩彦さん(中央学院大学教授・元我孫子市長)
松谷清さん(静岡市議)
- 3 「地域からのエネルギーシフト!再生可能エネルギーへ」
飯田哲也さん(NPO法人 環境エネルギー政策研究所 所長)
鈴木亮さん(日経新聞 編集局編集委員兼キャスター)
- 4 「個として繋がり合い、支え合っている社会づくり」若者・生活困窮者支援
津富宏さん(静岡県立大学国際関係学部国際関係学科 教授)
橋本隆夫さん(静岡市子ども未来局子ども未来課長)
- 5 「自転車×まちづくり」新たな次元の社会政策を考える
小林成基さん(NPO法人 自転車活用推進研究会 理事長)
佐藤雄一さん(静岡県サイクルツーリズム協議会 事務局長)
- 6 「超巨大プロジェクトリニア中央新幹線が日本を破壊する?!」
服部隆さん(登山家・焼津市在住)
山田厚さん(リニアを考える自治体議員懇談会 代表・甲府市議)
*特別出演: コント60代(長野県大鹿村在住)

第10回 全国政策研究集会 2018 沼津

富士山のもとで、地方自治体の未来を考える～憲法・国民投票・地方自治～



8/24 金曜日 受付 12:30～

挨拶

12:50～

上原公子さん(元国立市長、自治体議員政策情報センター長)
世界一美しい富士山を眺望し、日本の屋台骨となる3000メートル級の南アルプスの山々と生命の源ともいえる3000メートルの深海・駿河湾を抱え持つ雄大な自然の中にある静岡県で、地方自治体の未来を考える第10回全国政策研究会を開催します。



上原公子

特別講演

13:10～13:50

静岡県から地方自治を考える

静岡県知事 川勝平太さん

静岡県では日本のシンボルである富士山について、「学び」、「考え」、「想い」を寄せ、後世に引き継ぐことを期して毎年2月23日を「富士山の日」と定めています。「富国徳の理想郷 “ふじのくに” づくり」を基本理念とする新しい総合計画と「“ふじのくに” づくり宣言」、「“ふじのくに” 平和宣言」を行ない富士山の世界文化遺産登録を実現した川勝平太静岡県知事に地方自治の未来を語っていただきます。



川勝平太

基調講演

14:00～16:00

日本一わかりやすい憲法のはなし

谷口真由美さん(大阪国際大学准教授・大阪大学非常勤講師) 全日本おばちゃん党代表代行

安倍「一強」体制のもと2015年秋、憲法は権力を規制するもので国民を縛るものではないという立憲主義を壊し集団的自衛権の行使を容認する安保法制が強行採決されました。今秋には憲法9条の第一項、二項を残し自衛隊を第三項に加えるという憲法改正案が国会で発議されようとしています。「TBSサンデーモーニングコメンテーター」として活躍する谷口真由美さんが「日本一わかりやすい憲法のはなし」を基調講演します。



谷口真由美

分科会

16:15～18:15

国民投票と地方自治

鈴木秀美さん(慶応義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授) 南部義典さん(元慶応義塾大学講師、シンクタンク「国民投票広報機構」代表)

昨今、様々な立場から憲法改正の是非をめぐる議論が行われています。国民投票法の立法経緯を振り返りつつ、同法の改正等を求める自治体議会の実践例(意見書提出)を紹介し、また、国民投票法とメディアとの関係については、現在、大変関心が高い内容であり、合わせて、その内容と意義、自治体議会が今後果たすべき役割について話します



鈴木秀美



南部義典

分科会

16:15～18:15

憲法・地方自治・議員のめざす姿

福嶋浩彦さん(中央学院大学教授・元我孫子市長) 松谷清さん(静岡市長)

憲法の言う地方自治の本旨とは何か? 各議員が支持者の要求実現を執行部に迫るだけの議会のあり方自体を問い直したいと思えます。また、「市民派」、無所属、ローカルパーティ、中央政党所属の議員の過去と未来を議論し、自治体議員のめざす姿を考えます。



福嶋浩彦



松谷清

分科会

16:15～18:15

地域からのエネルギーシフト!再生可能エネルギーへ

飯田哲也さん(NPO法人 環境エネルギー政策研究所 所長) 鈴木亮さん(日経新聞 編集局編集委員兼キャスター)

世界の多くの国や企業は再生可能エネルギーと省エネを最も重要な産業として拡大しています。パリ協定をきっかけに世界はCO2を実質ゼロにする「脱炭素」社会に大きく舵を切りました。豊富な自然資源と高い技術をもつ日本は未だに原発依存を続けています。再生可能エネルギーを軸に持続可能なエネルギー革命の実現に向けた具体的な地方自治体政策を探ります。



飯田哲也



鈴木亮

「草の根」「ボトムアップ」型民主主義は、地方自治・市民自治から生まれ育ち、日本社会を変えていく土台となります。「安倍一強」体制が生み出した独裁政治と忖度行政を変革していくその力は、市民運動と共に歩み行政制度の中で悪戦苦闘する自治体議員の実践の中に見出すことができます。

8/25 土曜日 受付 9:00～

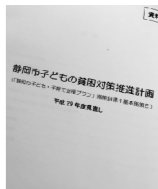
分科会

9:30～11:30

「個として繋がりが合い、支え合っている社会づくり」 若者・生活困窮者支援

津富宏さん(静岡県立大学国際関係学部国際関係学科 教授) 橋本隆夫さん(静岡市子ども未来局未来課長)

「働きたくても働けない」「社会との関わりに不安がある」など生活に困りごとや不安を抱えている人などに寄り添い、支え、さらに地域を作り直し、地域が解決者となっている静岡の実践活動から、相互扶助の社会をつくっていく生活困窮者支援、子どもの貧困対策について、一緒に考えます。



津富宏

分科会

9:30～11:30

「自転車×まちづくり」新たな次元の社会政策を考える

小林成基さん(NPO法人 自転車活用推進研究会 理事長) 佐藤雄一さん(静岡県サイクルツーリズム協議会 事務局長)

健康志向の中、環境にやさしく安全な自転車は交通手段として、また地域の自然が持つ価値をライフスタイルに取り入れる乗り物として注目されています。自転車活用推進法が施行され地方自治体による利用計画策定による横断的・総合的な取り組みが必要とされる中、これからの自転車とまちづくり政策を考えます。



小林成基



佐藤雄一

分科会

9:30～11:30

超巨大プロジェクト「リニア中央新幹線」が日本を破壊する?!

服部隆さん(登山家・焼津市在住) 山田厚さん(リニアを考える自治体議員懇談会 代表・甲府市議)

特別出演：コント60代(長野県下伊那郡大鹿村在住)

時速500キロで東京～名古屋を40分で結ぶというJR東海のリニア計画は、3兆円の国費投入、ユネスコパーク登録された南アルプスの自然破壊・残土処理、62万人の上水道水源大井川の水量減水、工事入札の談合や沿線自治体の公共事業投資など、暮らしに直結する課題を抱えています。工事が始まった長野県下伊那郡大鹿村発「リニアコント」披露など情報交換し地域政策につなげます。



服部隆



山田厚

オプションツアーも盛りだくさん!

南海トラフ地震が予想される浜岡原発の現状を視察する

浜岡原発が停止してから7年。中部電力では津波・重大事故への4000億円の安全対策と1・2号機の廃炉作業に取り組んできました。周辺自治体市民意識調査では再稼働に半数が反対しています。原発敷地内施設、防潮堤やH断層などを見学予定です。(必要書類あり)

8/23(木) 掛川駅南口集合 12:20(12:30発)
菊川市役所 12:45発
現地視察 13:15～15:45
掛川駅着 16:30

参加費 無料 定員 30名
申込締切 7月31日(火)まで 予定のほつきりしない方もお申込は前日まで

地域資源「川の流れ」を活かしたまちづくり

「水の都・三島」の象徴でもある源兵衛川。2016年には世界かんがい施設遺産、そして2018年3月には世界水遺産にも登録され世界的にも注目されるものとなっています。今回のツアーでは、かつては「どぶ川」と呼ばれた川の再生に、長年力を注いできたNPO法人グランドワーク三島の皆さんにご案内をお願いし、水辺を歩きながら、水辺の再生と地域資源を活かしたまちづくりのお話を伺います。

8/25(土) 2時間程度の視察(昼食後14時～16時) 解散 JR三島駅近く

参加費 2,500円(昼食付) 定員 15名程度
申込締切 8月18日(土)まで

「文化財保護と開発 ～市民運動の広がり～」

「高尾山古墳」は卑弥呼の墓といわれる「箸墓古墳」よりも築造が古いとされる東日本最大級の前方後方墳です。都市計画道路建設による取り壊しは市民運動を機に、古墳と道路の両立に動き出しました。古墳保存の市民運動は、時とともに様々な形に変えて続けられています。古墳の歴史や道路について聞くとともに、文化財保護活動をする市民の方からお話を聞きます。

8/25(土) 12:30～15:40※研究会終了後の移動会場より徒歩・タクシーで移動 沼津駅北口解散 ※天候により変更あり

参加費 2,500円(昼食付) 定員 20名程度
申込締切 8月18日(土)まで

「自転車×まちづくり」沼津市のサイクルツーリズムを体験する

海越しの富士山が見える自慢の景観を世界中のサイクリストにアピールしたい…。市職員15人によるPTGが、統廃合で2011年3月に廃校となった小学校の校舎1階を拠点に、地元サイクリストや企業、団体の協力を得ながら展開する自転車×まちづくりの実践を体験します。市職員によるプリーフィングとスポーツ自転車での体験ツアー。

8/25(土) 12:45～16:30※研究会終了後の移動会場より徒歩・タクシーで移動 沼津駅北口にて集合 沼津駅解散 ※天候により変更あり

参加費 2,000円(昼食付) 定員 16名
申込締切 8月18日(土)まで